ティン都ホテル京都で、197名の参加で開催し

重士大会」を、2月24日、京都市東山区のウェス

た。

今回のメインテーマは

「新たな役割に応えら

れる計量士像」。新たに期待される「検定、検査」、

「自動はかりの計量管理」業務、それらに対応で



た。その結果を経済産業

第 15 回全国計量士大会のようす 要は、日本計 待を述べた。 室長の講演概 量振興協会の

量行政室長の講演は「計

吉岡室長の講演はこの

層の活躍に期 の計量士の一 い制度の下で 一きます。

いては、時間の許す限り その他の意見交換につ

| 題検討会」に提案した。 は、法令改正等が予定さ 出た。答甲を受けて本年 検討会でまとめられた課 で審議され、2016年 る計量士像 な役割に応えられ

あろうが、特に、これか

いますのでよろしくお願

はかりに関する意見・提 する意見・提案」、「自動 のテーマ「検定検査に関 き、意見交換を進めてい する意見・提案」につい 案」、「計量士の育成に関 パネリストとして、3つ 量士部会の3名の委員に て、まず、パネリストに いて意見交換をする。計

ともに、新し

一情勢を踏まえたもので、 答申の概要を解説すると

度の課題検討委員会」を

えられる計量士像」につ として「新たな役割に応 ネータの主旨説明 ■阿知波正之コーディ

3提案受けパネルディスカッション .jp/topics/gaiyou.p 会計量士部会の企画立案 全国計量士大会は、 同 換の場を設け、計量士の て開催している。 支援することを目的とし 職域拡大と力量の向上を に、参加者相互の情報交 情報を提供するととも

のもと、計量制度の変化

会委員。

目で講演し、計量士の活躍への期待を述べた。

吉岡勝彦計量行政室長が講演

計量行政審議会答申

メインテーマ「新た

見交換をした。吉岡勝彦経済産業省計量行政室長

が「計量行政審議会答申と計量士への期待」の演

きる「計量士の育成」に関して、3名のパネリス

トからの提案を基礎に、パネリストと参加者が意

開会の辞は阿知波正之

大会プログラム

いさつは石蔵利治副会 本計量振興協会の計量士 室長があいさつした。日 勝彦経済産業省計量行政 長。来賓を代表して吉岡 報告した。 を、河住春樹専務理事が 関係事業の取り組み状況 の取り組み状況(河住春 | 興協会の計量士関係事業 利治副会長 ◇状況報告─日本計量振 彦経産省計量行政室長 ◇来賓あいさつ=吉岡勝 ◇主催者あいさつ=石蔵

会は、白鳥慎治計量士部 懇親会を開催した。司

之〔計量士部会長〕)

▽パネリスト提案・意見

えられる計量士像」(コー

◇意見交換=▽メイン

待」(吉岡勝彦経済産業省

〔計量士部会委員〕)

会答申と計量士への期

テーマ「新たな役割に応

の不具合といった問題も 計量士像になので、現状 あるように、ごれからの また、今回のテーマに | らの計量士の活動に必要 うかがいしたいと考えて なご提案・意見を主にお いさつし、山口豊己京都 桑山重光副部会長があ

理のインフラが整備され

器である、電気式はかり

|が乾杯の発声をして、全 | 蔵副会長の主催者あいさ

郎京都府計量協会理事長

めは、白鳥慎治委員。(石 士が交流を深めた。中締 国各地から参集した計量

長の来賓あいさつは、

号以下で掲載する)

府計量検定所長が来賓あ

いさつをした。木村雄太

パネリスト 」に関 吉川

特定計量器のスパン調整 が、スパン調整をしたり、 と答申を引用しました 関」を認める答申につい をしたにも拘わらず検定 「消費者ニーズの多様 うものです。

一取り締まるというより、 |を受けずに使用してい る、という実態が少なか る方法はないのか、 のが現状です。 そこで、まず、

関は、日本計量振興協会

手数料は、適管事業所の

所属の協会の会費だけで

|でよろしくお願いしま

とさせていただきますの

「器差のみ指定検定機 | 必要だろう、ということ | それを何とかしようとい ではないかと思います。

法のもとでは妙案がない の後もメリットを拡大す をしてきましたが、現行 でも議論されました。そ 業所制度については、第 1回全国計量士大会の中 一方で適正計量管理事

図られ国民利益に繋がる われる。それにより事業 修理検定が迅速におこな の活動の場が広がると共

という提案です。 かりませんが常にマネジ メントシステムの適否を

管理部会に所属していま 計量協会の中では、計量 一理事業所である会員は、 説明します。適正計量管 なることで特定計量器の の場合の修理は、器差の 具体的には、スキー (次号以下に掲載)で るわけです。この研修機 とにより力量が保証され しょう。さらに器差のみ 関で教育訓練を受けるこ

なっている(指定されて

いる)意義、協会に加盟

しているメリットが生じ

上で、地方計量協会が「器 なって、会員の計量士が 差のみ指定検定機関」に ということをやります。 器差のみ検定を実施する **所が修理事業者としての** 換をしていて普段から連 管理部会と計量士部会と する。このような流れを けて、検定員の派遣を計 会の「器差のみ指定検定 のスパン調整をした場合 る。事務局は、それを受 務局に修理検定を申請す | 士の養成機関なわけで 思っています。検定計量 はと思っています。答申 が高いものではないので 関」は、さほどハードル ころを想定しています。 検査機関になっていると 関」には、既に指定定期 「器差のみ指定検定機 「器差のみ指定検定機

機関は、どこがやるか分 そうすることによって、 適正計量管理事業所に のではないでしょうか。 維持コストも掛からない 初期投資も少なくでき、 なる、とされています。 よりもさらになりやすく の中でも規制を緩和し て、従来の指定検定機関

JCSS 0306 JCSS 0306 JCSS 0308 は当 JCSS 校正室の認定番号です ISO 対応計量器検査·管理·業務

製 造 ● 販 売 ● 修 理 ● 代行検査

(有) 岩淵衡機製作所

TEL 水戸 (029) **221-3869** 水戸市柳町 1-14-3 FAX (029) **227-1178**

http://iwabuchi-scale.com



すぐに使用したい。生産 は、スパン調整をしても 結論としては、「事業所

物的、知識、計量管理主 整備されている」、「しか 事業者になるインフラが 任者が置かれている適正 いう要望がある。「人的、 体制を止めたくない」と 量管理事業所は、修理

ながら、スパン調整の 質疑応答

必要だと思います。

体であれば、迅速な対応 とは、日常的に連携する のの、法的に修理検定を い」、「そこで、適正計量 | する団体への働きかけが あるいは、計量士が参入 となって計量士が活動す が参入し、その中で中心 るということに繋がる、 への民間事業者の参入と ネータ)「検定・検査」 いうことで「計量団体」

という要望に応えること ら適正計量管理事業所に ものです。 活性化ができると考えた 力のアップと計量協会の 適正計量管理事業所の魅 定検定制度」を利用して ができます。「器差のみ指 権限を与えたらどうか、 すぐに使用できるように なればスパン調整をして これにより、かねてか

作業自体は簡単であるも 阿知波正之(コーディ しょうか。

それでは、皆さんから



青木鎮夫計量士(大阪) と思います。しかし、大 非常に精度の高い分銅が 大変結構なことと思いま の意見・提案を求めます のはかりは、それで良い 持っているのではなく 関として独自に分銅を 使用しています。検査機 しています。 所の分銅を賃借して使用 て、実態としては、検定 まま実用基準分銅として 使用していた分銅をその スケールの検査は、 どおり、検定所が検定に

れは、県によって異なる るのでしょうか、疑問が 吉川勲(パネリスト) こ ある。その点はどうで のような事が簡単にでき 型はかりの場合には、そ 一うに私は思います。実用 る認識が非常に曖昧で えもあまり認識がないよ 良く分かりました。ただ す。一般企業、行政でさ し、実用基準分銅に対す 青木鎮夫計量士(大阪)

が可能になる」というこ一必要になる、という提案一都府の場合は、トラック一ているが管理マニュアル かも分かりませんが、京 基準分銅が各所で使われ 申請する必要があると思

は、もっと良く理解して、 われるマニュアルにして に考えるというか勉強し マニュアルに対して慎重 ん。代検査をする計量士 について徹底していませ て、適正な計量がおこな | う。計量士もそれに従っ て管理をしていると思い 求に行われていると思 があるかと思うが、現在 の制度としては、マニュ アルについても審査が厳

が修理事業者になるとい

ではなく、分銅は、必要

でしょうか。そういう時 使えなくなるのではない

県計量協会計量士部会

| ら特定計量器の自動はか

会

涉

谷

にでも、このスキームな

ていなければならない訳

せん。検定を受けないと

放しになるはずがありま になるとスパン調整が野

〒44-152名古屋市熱田区沢上二丁目8ー7

FAX (052) 938-7433

スパン調整が頻繁におこ

阿知波

正 之

なわれます。

| 認を与える、ということ にしなければ問題は解決 じて厳求な審査をして承 います。行政もこれに応 | そういう前提の基にとい ネータ) そのとおりで 一うことで良いですか。 | 青木鎮夫計量士(大阪) 阿知波正之(コーディ

|ネータ) | 一部には、問題 | 仮に適正計量管理事業所 阿知波正之(コーディ しないと思います。

塩﨑利平計量士(富山)

となっており、その辺の 推察いたします。本日の ンテーマは、「新たな役割 いと考えております。よ 討議が中心になるものと に応えられる計量士像」 ろしくご支援ご協力をお 対応策を検討していきた 通して今後のより有効な 意見交換会や討議の場を しも、全部を揃えるとい 合、大型になると、必ず 塩﨑利平計量士(富山) ものと思います。 は不足分も容易に補える うのは大変なことになり 適正計量管理事業所の場

懇親会:木村京都府計量協会理事長あいさつ

全国計量士大会

ので、検定レベルの分銅 でに指定定期検査機関に を保有しているか、また 吉川勲(パネリスト) てあるということです うことについて、実用基 なっていることが前提な はずです。また、「器差の 準分銅もそこに備え付け み指定検定機関」は、す 査設備が用意されている 正計量管理事業所には検 る範囲だけ届け出ること 持っていないときには、 も含めて分銅を準備でき 修理事業者になれないで でしょうか。 な時にはいつでも借用し なければそれは除外して 吉川勲(パネリスト) てきても良いのではない であるので100トン分 塩﨑利平計量士(富山)

準分銅を使って、器差の み検定をおこないます。 している基準器か実用基 くまでも計量協会が管理 ことではありません。あ 吉川勲(パネリスト) 適 管に分銅を持て、という が特定計量器になると、 思います。トラックス うよりも、それ以外の非 く、トラックスケールが 部だけということではな 行うしかありません。 自動はかりの方が多いと ですか。 できません。自動はかり ケールが何十台もあると 吉川勲(パネリスト) 塩﨑利平計量士(富山) いう事業者はあまり想定 ずらっと並んでいるとい 部だけやるということ

らご出席いただき誠にあ

げます。さて、米国のト しまして厚く御礼申し上

うに、昨年は計量行政審

ところで、ご承知のよ

た、公務ご多忙の中、経 りがとうございます。

界の政治経済は不透明な ランプ政権誕生以来、世

済産業省計量行政室吉岡

から多数のご来賓のご出 室長様をはじめ関連機関

い結果も考えられる情勢

ますが、長い間の懸案で いご説明が伺えると存じ 後程、吉岡室長から詳し 直しが審議されました。 改正による計量制度の見 議会が開催され、政省令

おいて調査検討をおこ

考えます。

ます。

りについては、当会では えます。特に、自動はか

うことが重要になると考 極的な取り組みをおこな 捉え、業務拡大のため積 本制度改正をチャンスと

ると考えます。また、こ

と若手計量士の育成であ

した計量士の力量の向上 は、時代のニーズに対応

最後になりましたが、

の動きに対応した新たな

の皆様方のご苦労に感謝 計量士部会および関係者 られた日本計量振興協会 今大会の企画運営に当た

自動はかり検討委員会に

いくことが必要になると

いさつとさせていただき 申しあげまして、私のあ

が、対応次第では好まし

ごあいさつ申し上げま ことなので私が代わって

会の各種事業にご支援ご や試験校正事業はじめ当

り、デフレを克服し緩や

の景況感が改善してお た状況下、今年は製造業

かな景気回復が期待でき

なったことが注目されま 幅に拡大される方向と 特に、計量士の業務が大 が公布される予定です

ることをお勧めいたしま

計量士の今後の課題

理業務等にチャレンジす

ける自動はかりの計量管 手始めに適管事業所にお

す。計量士におかれては

協力をいただいておりま

そうです。

皆様、本日はご多用の

すことをこの場をお借り

多くの方々が遠路か

体調不良でご欠席という 長の石蔵です。楠会長が

日ごろ郵政計量管理業務 す。計量士の皆様方には、 日本計量振興協会副会

席を賜り御礼申しあげま

です。日本経済はこうし

年4月以降に順次政省令

性が強く打ち出され、本

量士の方々は、本年は、 を開催する予定です。計 あった「器差のみ指定検

なってきており、本年は、

自動はかりの計量管理に

定機関」の創設や自動は

ついて、説明会や講習会

日本計量振興協会副会長

石蔵利治

主催者あいさつ

も、全ての分銅を保有し 修理事業者が持っている ん。修理事業者が100 ということではありませ トンまで修理するとして 懇親会のようす



会長

横

尾

明

幸

電話·FAX 03-5683-1-122 〒136-0075東京都江東区新砂3-3-41

知県計量

士会

東京計

量士会

速に対応できます。 (次号以下にづづく)

(スーパーストア生産・販売管理用、etc) ●一般計量全般: 産業用プリンター、自動計量・包装機 その他、計量・計測関連自動化・省力化システム全般 ●ISO/IEC17025 (JIS Q 17025): 2005 対応の質量·JCSS 校正証明証発行業務 JCSS 0296

《計量・計測、包装、物流システム・計量管理コンサルタント》 URL http://www.do-guya.co.jp 取締役会長

利 平 -般計量士 吉 崎 康 代表取締役社長 塩

本 社/〒933-0929 高岡市木舟町 70 TEL0766-25-0038 FAX0766-25-1120 IP 電話 050-7528-2101

業/〒933-0942 高岡市川原町 1-8 技術部 TEL0766-25-0048 IP 電話 050-7505-5416 校正室 / 〒933-0914 高岡市小馬出町 85 TEL0766-25-0198 IP 電話 050-7505-5416

新報 お願いいた

弊紙は計量・計測・科学に関する政治・経済・文化・新製品ニュース、 専門新聞です。お問 新技術その他関連する事項をすばやく詳細にお伝えする計量 い合せは、私 03-3295-7871